

概要

一週間海南島で過ごしました。最初の四日間は乡村孔子学校のお部屋を借りていました。次の二日間は三亚に旅行に行きホテルに宿泊しました。最後の一日はまた乡村孔子学校にお世話になりました。

乡村孔子学校では、9時から2時間程度、子どもたち(15名程度)に日本語を教えています。簡単なあいさつや、日常会話、日本の歌(赤とんぼ等)を教えました。英語も同時に教えました。

その後は王先生と中国語で会話したり歴史を学んだりしました。

夕方以降は王先生の家に行ったり、王先生の実家に行ったり、子ども達と遊んだりして過ごしました。子どもたちはとても元気で、圧倒させられました。夜は持ってきた本を読んだり、洗濯をしたり、音楽を聴いたり、日記を書いたり、子どもたちと一緒にテレビアニメを観たりしてのんびりと過ごしていました。部屋には冷蔵庫があり、扇風機と蚊取り線香も持ってきていただいて快適でした。ご飯は近くに毎日営業している小料理屋さんで毎日行って食べていました。希望を言えば何でも作ってくれる素晴らしいお店でした。



中国本土でも馴染みの馒头とミロ(3元) チャーハン!とお茶(10元)

三亚では、観光地を巡りました。一日目に三亚湾(三亚湾)と南山寺に行き、二日目には鹿回頭公園(鹿回頭公園)に行きました。王先生が手配して下さったホテルのすぐ裏には大东海(大東海)が広がっていて、海で長い時間遊びました!景色が最高で、ずっとここに居たいと思いました。



持っていくといいもの

日傘、帽子、日焼け止め・・・暑さ・日焼け対策に持っていった方が良いです。本・・・小説などを持って行くのがおすすめです。のんびりと夜を過ごせました。ノート・・・現地の方とコミュニケーションを取る際や、日記を書いたりするのも良いと思います。



得たもの

語学力

語学力の面では本当に得たものが大きかったように思います。分からない言葉は漢字で書いてもらったり、辞書で調べたりしながら会話しました。現地の人は皆優しく、私が聞き取れないときには、易しい単語に置き換えてくれたりしました。

生活力

私は今まで一人で身の回りのことをこなすという経験をしたことが皆無だったため、洗濯や体調管理、掃除などの基本的なことから、農村の家庭料理、などを経験し、生活力を身につけることができたと思います。



知識

私は日中の歴史についての知識が浅く、また知ろうという気持ちもあまりありませんでした。しかし、今回のこのプログラムで、日本軍の海南島侵略・虐殺の歴史を知りました。これにより亡くなられた方のお墓である千人墓にも行きました。農村の人は大変優しく、村全体で私を温かく受け入れてくださいましたが、ご年配の方々はこの日本軍の侵略を経験されている方もおり、虐殺されたという思いは忘れることはできないでしょう。過去は過去、今は今ですが、交流をしていくうえでは、過去の歴史を知ることは重要なことであるなど実感しました。



感想

最初はどうなることかと思いましたが、一週間は本当にあつという間でした。日本語を教えたいという気持ちだけで海南島に渡りましたが、逆に私が現地の皆さまにたくさんのお話を教わりました。私が滞在した場所は田舎の小さな農村で、不安もありましたが、現地の方々と交流していくうちに、とても温かいアットホームな雰囲気にリラックスして生活することができました。海南島での経験を生かし、今後の中国語の勉強に励みたいと思います。

現地コーディネーターの王老师には現地のあらゆる場面で大変お世話になりました。そして CEC ボランティアネットワークの池頭さんには出発前、そして帰国後、お世話になりました。本当にありがとうございました。



参加者感想

参加期間 2011年12月28日～2012年01月04日

参加されたプログラム名
海南島日本語ボランティア

参加の動機
ホームステイをしながボランティアができればと思い昨年行った海南島コースがあったため夫婦で申し込みました

【印象に残ったこと・感動したこと】

まず最初に事前情報どうりの自然環境の中でのホームステイであり滞在期間中は大変満足したことに感謝いたします。

朝の鶏の餌やり・卵回収そして小舟での魚とり・畑に行っその日の野菜の収穫・熱帯植物の中での散歩と毎日が飽きることがありませんでした。

また当然ながらホストファミリーである王先生家族の優しく暖かなもてなしや隣近所の方たちとのフレンドリーなコミュニケーションには田舎に帰った時のような雰囲気の中で毎日を過ごすことができとても快適でした。

そして生活スタイルが自給自足であったこと、食べ物(肉・野菜・魚・果物)は王先生宅付近より全て手に入る為スーパーには買い出しに行かないようであったが、その為中国料理のイメージである脂っこいものはなくヘルシー感覚であったことが滞在期間中に体調異常も起きなく暮らしやすかったです。

時間は短かったのですが小学校での子供たちとの交流では子供たちの素直な気持ちが不安だった私たちの心に喜びと満足感を与えてくれました。“謝謝”“再見”の言葉にはとても感動いたしました。期間中のプログラムについても王先生の取り計らいにてスペシャルなオプションも沢山あり思い出多い体験プログラムでした。たった一週間という短い期間ながら十分に満足のいく企画に感謝いたします。ありがとうございました

【大変だったこと】

広州空港にて海口への乗り継ぎに当たり国内チェックインカウンターが添付の地図と違っていたため手続きに手間取ってしまいました。この空港はかなり広いために迷いやすいと思います。国際到着から国内乗継までのう少し詳細な空港内地図あれば安心して乗継ができますと思いますが如何でしょうか？また国内チェックインにはかなり時間を要します“要注意”！！

ホームステイ中は王先生のフォローがあり何等不安もなく過ごせました。

【楽しかったこと・体験】

とにかく毎日の農村生活は格別でした。“山羊や鳥や魚を自分たちで調理して食べる”生活習慣。喉が渴けば椰子の実を落としてその場でココナツジュースが飲める(これは最高！！)今の時代中々体験できない！！村中参加の結婚式に参加できた事・近所の方の法事ではこの地域独特の儀式に参加できた事(これは楽しいことではありませんが)。そして、この間、毎日の生活の中での先生からのフンポイト中国語レッスンは日常会話の上達には即効性があり楽しく学ぶことができました(ただし全ては覚えていない)。小学校での交流は子供たちのキラキラした目に引き込まれあっという間に時間が過ぎてしまったこと。

【持ち物について】 持っていって良かった物、or 持っていけば良かった物など

農村での生活ということでは蚊取り線香(電気蚊取りは備えてあるがやはり蚊取り線香が一番)。虫に刺された時のかゆみ止めと塗薬(日本と違う虫に刺され腫れてしまった)。スーツケースとは別にデイバック。日差しが強いため帽子。食生活ががらりと変わる為常備薬。日本を紹介できる物(自分の周りにある風景(春夏秋冬があればベスト))。何か一品ということで正月ということで「お雑煮(牛蒡と餅と昆布と蕎麦汁は持参)を作りました(とても喜ばれました)。」数種類のキャンディ(いつでもポケットに入れて会った人に挨拶がてらに)。

【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

一年中暖かいところですが冬季は夜中から朝方まで結構冷えますので短パンTシャツで寝ると風邪をひきます。できれば長袖Tシャツとタイツがあれば安心(余りかさばらないから必須かも)。

【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc. 旅行に行かれた方はその費用など

外食は一人100～120円あればかなり好い物が食べられます。今回のレート:1元=12～13円

スーパーでは大体日本の数分の一の値段です。果物は珍しい物でも500g単位で売られています(ものによって数元～十数元)。バスは一回4元。新幹線(高速鉄道)は海口空港～チョンハイ(30分位)まで(29元)、チョンハイ～三亚(東洋のハワイまで1時間ちょっと)まで(49元)。

因みに特別に参列させていただいた法事(亡くなってから5週目が女性・7週目が男性)のお返しは2元でした。

三垂までの一泊旅行は1200元/1人(交通費・食事・ホテル代(かなり安いホテル)・その他観光・コーディネート含み)

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

覚えている中国語はほとんど通じない。間違ってもいいつもりでとにかく発声するとなんとか通じて直してくれる。

絵をかいたり筆談が一番早い

とにかく笑顔を絶やさず“ニイ好”“チンネン ハオ(新年 好)”

【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

町から車で30分位の周りには店もない農村地帯ですがコンクリートつくりの立派な建物でした

今年の3~4月にはゲスト棟が2階建てになります。

夜はカエルの声が気持ちよく聞こえ、朝は鳥の声と鶏の鳴き声で目覚める環境です。ドアのカギは渡してくれます

が必要なかった。村の中心的存在な王先生宅を、近所の人が集まってきてはご飯を一緒に作り一緒に食べる

ので顔見知りになり散歩に出ても楽しく安心してできました。どこの国でも田舎の雰囲気は一緒かも！！

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

ステイ先から歩いて20分位の地元の小学校に行き大体2時間くらいの持ち時間で3年生くらいの子供たち(20人

弱)と一緒に写真を見せながら日本の紹介をし、簡単な折り紙を折り、ひらがなの50音を皆で発声練習をした。

【やってみたかった事・やり残した事】

ただ単にお客様としてのホームステイでなく、中国語の集中学習と農村での自分に課せられた作業を与えてもら

うと規則正しい日々を送れると思う。決して上手くいくとは思いませんが！！

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！



無邪気な子供の笑顔(結婚式にて)



歩いて20分位の小学校で交流“みんなの自信作”(全員で猫の折紙) 教室にて



毎朝、前日仕掛けた網を上げに行きました[毎朝行くのが楽しみの一つ]。王先生(右手前)と隣家の祭さん(左奥)と私達...祭さんの港?出港



王先生のお父さん(94歳)前真ん中・お母さん(90歳)後左・王先生奥様後右・山羊を解体してくれた近所のおじいさんの孫(この時写っていないが目の前で今夜食べる山羊を解体していた)...家の居間の入り口の前にて



農村の足(タクシー)バイク取り付けた3輪タクシー 近くの田んぼから見える椰子越しの夕日



ハワイを思わせる三垂の海岸[真っ白い砂浜]



今でも現役“水牛トラクター”を連れて、いざ水田へ

とにかく素晴らしい自然が・人々が思い出を作ってくれました。

参加者感想

参加期間 2012年 7月16日 ~ 7月29日

参加されたプログラム名

海南島日本語ボランティア

参加の動機

現在中国で留学をしているので中国語の向上が目的です。

【印象に残ったこと・感動したこと】

私の参加の目的は、中国語の向上と最初に現地コーディネーターの方に知らせてあったので、いろんなところに行って、いろんな人たちと交流することができたのが、とても楽しかったです。

農村でのホームステイも体験しましたが、村の人たちが本当に優しく、声をかけてくれたりしました。日本では近所の人との交流など、最近はあまりないので、とても嬉しく感じる出来事でした。

【大変だったこと】

現地コーディネーターの王さんがとても親切にいろいろ手配してくれたり、説明してくれたりしたので、そんなに大変なことはなかったように思います。

【楽しかったこと】

やはり、楽しかったことは現地の方との交流です。最初は中国の小学生から中学生が参加している、英語を勉強するのが目的のサマーキャンプに参加しました。授業がお休みの時には、その子供たちと一緒に海に行ったりして遊びました。その他には、そこで働いている先生の方に、近くの大学のバスケットコートに連れて行ってもらい、中国人の男の人たちにまさりバスケの試合をやったりしました。(バスケをやるのが好きだと思ったら連れて行ってくれました。) いろんなことを中国語で話すことができるのがとても楽しかったです。年齢が近い人とも友達になれ、話すことができたのもよかったです。

【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

虫よけスプレーなどはあったほうが良いと思います。その他、私は電車での移動が多く、待たされることが多かったので、待ってる時間がとても暇でした。(中国ではよく電車が遅れます。) なので、日本語の本など、少し荷物になりますが暇なときになにかするようなものがあるといいかもしれません。

【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

私が言った時期はとても暑い時期でしたので、Tシャツに半ズボンが一番楽でした。

【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc. 旅行に行かれた方はその費用など

食品、外食、交通費などは中国ですので、安いです。1食高くても40~50元ではないでしょうか?

旅行には行っていませんが、こちらも比較的安い値段でいけると 생각합니다。

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

中国で半年間留学していたので、日常会話は問題ありませんでしたが、時々わかんない単語など言われると、一気にわからなくなってしまう。というのが何度かありました。

全部聞き取れるわけではもちろんないので、その時は、わからないと言ったらゆっくり話して説明してくれるので、そんなに困るわけではありませんでした。ですが、自分がしゃべることに関しては、知ってる知識があっても、言葉が出てこなく言いたいことが言えないというのは、すごかったです。ですが、それは自分の問題ですし、現地コーディネーターの王さんと話すときは、王さんが日本語が話せるので困りませんでした。

【ステイ先の情報・感想】 ホームステイ

農村でのホームステイでしたが、インターネットも使えて、エアコンもありました。私が行ったときは、2階を建設中でした。2階にはトイレとお風呂がつくと、王さんが言っていたような気がするのですが、もっと過ごしやすくなるのではないかと思います。実際、私がいた部屋で何の不自由もありませんでした。そこらへんに、鶏などが歩いて、ご飯になっててきます…。笑 夜になると、部屋にトカゲが出現します。じっとしているだけで、なんの被害もないです。(´_´)

食事は、私は好き嫌いがないので全部食べられましたが、好き嫌いのある人だと、ダメなものはダメと好き嫌いがはっきり分かれるかな? と思います。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか.....

..... 最初は、中国の小学生から中学生の英語の優秀者が集まって、サマーキャンプを行っているところに参加しました。子供たちの食事の手伝いや、授業の手伝いなどを主にやり、少しでも日本の歌を教えてほしいと言われたので、PPTを作って日本語の歌を教えたり、簡単な日常会話を教えたりしました。子供たちもすごく真面目に聞いてくれたので、とてもやりやすかったです。授業の後にBBQをしたり、海に行って遊んだり、野外授業をやったりといろんなことをしました。..... そこには4日間くらいいて、そのあとは海が見えるバーみたいところで、お手伝いでした。お手伝いといっても、そこまで中国語も話せるわけではなく、私が行った時期がちょうど台風が来るといわれている時期で、お客さんも通常より少なかったので、そこで働いている従業員の人たちと喋ったり、遊んだりして過ごしました。.....

【やってみたかった事・やり残した事】.....

..... 海がとてもきれいだったのに海に入るチャンスがなく、入れなかったのがとても残念でした。.....

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎!!.....

..... 農村では農村の結婚式に参加しました。中国の都市や日本とは全然違う結婚式で、こういうことに参加できたのはとてもいい経験になりました。.....



..... 海南島の海はとてもきれいです!!.....

..... 海南島の海沿いにあるバーでお手伝いしました.....



..... 女性 (ご参加時年齢)20歳代.....

..... ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。.....

海南島参加レポート

【参加時期】 2014年10月12日～10月25日 (2週間)

【参加しようと思ったきっかけは？】

まとまった時間がとれたのでボランティアをしようと思いました。どうせするのなら、今学んでいる中国語を生かせる場所が良いと思い海南島にしました。

【参加期間中に楽しかったこと、思い出に残るエピソードなどなんでもお書きください】

初めて中国を訪れましたが、とても面白かったです。中国では何一つ？予定通りには進みませんでした(笑)が、直前にならないと何も決まらないのが中国または海南島の文化であることを知り、すぐに順応し、楽しい思い出を作ることができました。



(小学校で英語のレッスン)



(折り紙に夢中!!)

私は農村部および海口(海南島で一番大きな街)に滞在しましたが、この2週間で実に多くの方々にお会いし、多くの友達ができました。島の方々には皆親切で、私の下手な中国語を一生懸命聞いたり説明したりしてくれました。お陰でここでは日本では知り得なかった様々なことを知ることができました。日本語や英語を教えるつもりで行った中国ですが、実際には私が学んだことのほうが多かったように思います。





(ある日の晩ご飯)

海南島の食事はどれも大変美味しかったです。お世話になった王先生のお宅は、ほぼ自給自足の生活をされていて、とれたての野菜や肉、卵などをいつも美味しく調理してくれました。中でもココナッツジュースで炊いた椰子飯、野豚、アヒルの郷土料理、芋や野菜をふんだんに使ったスープ、手作り豆乳などは絶品でした。トマトと卵を使った料理は私があまりにも気に入ってしまったため、滞在中に3回も作ってもらい、作り方まで教えていただきました。

農村には小さな小学校がありました。そこで英語や日本の文化を教えました。子どもたちは皆とても人懐っこくて可愛かったです。海口では大学で日本語を学ぶ大学生と交流させていただきました。学生たちは勉強熱心で、いつも辞書を持って出掛け、いろいろ日本語で話しかけて来ました。そして、いろいろなところに食事に連れて行ってもらったのですが、農村でも海口でも食べるものすべてが美味しかったので、そのたびに「好吃！（美味しい）」を連呼していたら、

「先生は何食べても美味しいんですね。」と笑われてしまいました。

海南島と言えば、ハイナンチキンライスが有名ですが、これも絶品でしたよ



(王先生にお好み焼き&巻き寿司でお返し)

(海口大学の学生さんと一緒に)



(黎族の村での野菜たっぷりの食事)



また、週末には少数民族の村に泊りがけで訪問したり、一人で三垂に出かけたりしました。少数民族の村では李先生と馬先生にお世話になりましたが、お二人はとても面白く楽しい方々で、2日間よく面倒を見てくださりました。お二人のお陰で大変貴重な体験をすることができました。



(黎村での交流)



(農作業のお手伝い)



(黎村で女子会?)

この2週間で本当に多くの方々にお世話になりました。現地でお世話をしてくださったコーディネーターの王先生、林先生をはじめ、農村のご近所の方々や小学校の校長先生、王先生のお友達、少数民族村の方々、海南大学の学生さん、バスやタクシーの運転手さんなどのたくさんの親切にしてくださった方々に心より感謝申し上げます。また、事前に煩雑なやりとり等を現地と行い、調整をしてくださったCECの池田様にもお礼を申し上げます。



【 今後参加される方へのアドバイスをお願いします。 】 :

先にも触れましたが、現地では予定はあってないようなものでした。急な予定の変更にも慌てることのないような心積もりで、気楽な気持ちで参加するのが良いかと思えます。

また、現地では小さな虫(蚊や蚤)がたくさんいて、私は虫除けを使用したにもかかわらず結構咬まれてしまったので、夜寝るときは短パンではなく長ズボンのほうが良いかもしれません(笑)。

中国語はやはり少しは話せるほうが良いと思います。私ももっと中国語が話せたらと滞在期間中に何度も思いました。行く前に少し勉強していくと、多くの人と仲良くなれますし、充実度も変わってくると思います。

30代 女性 N・M様

